

# 第1 災害の実態

## 1 火災概況

令和元年中の火災は、総出火件数 654 件、損害額 1,305,271 千円、死者 28 人、負傷者 97 人、焼損棟数 584 棟、り災世帯数 287 世帯、建物焼損床面積 22,449 平方メートル、建物焼損表面積 1,510 平方メートル、林野焼損面積 1,088a となっている。

### (1) 出火件数

総出火件数は 654 件で前年に比べ 4 件 (0.6%) 増加している。これは 1 日に約 1.79 件の割合で火災が発生していることになる。

#### ア 火災種別ごとの出火件数

建物火災が 356 件で全体の 54.4% と最も多く、次に、車両火災 (79 件)、林野火災 (31 件) と続いている。

建物火災を種別ごとにみると、一般住宅火災が 132 件 (37.0%) と最も多く、次いで共同住宅火災となっており、住宅からの出火が半数以上を占める。(表 1, 図 1, 図 2)

表 1 火災種別出火件数

区分 種別	令和元年		平成 30 年		増 減 (A-B)
	件数 (A)	全体比 (%)	件数 (B)	全体比 (%)	
建 物	356	54.4	369	56.8	△13
林 野	31	4.7	15	2.3	16
車 両	79	12.1	78	12.0	1
船 舶	0	0	0	0	0
航空機	0	0	0	0	0
その他	188	28.8	188	28.9	0
合 計	654	100.0	650	100.0	4

図 1 全火災種別内訳

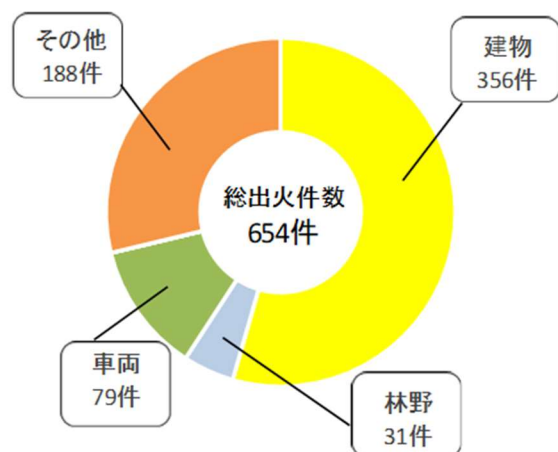
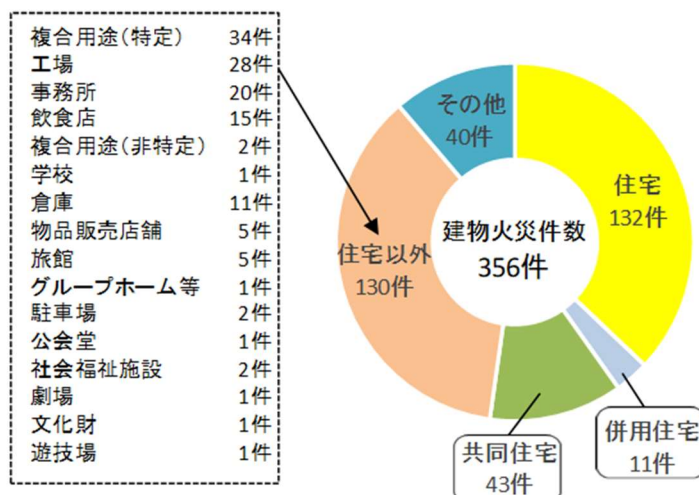


図 2 建物火災用途別内訳



## イ 月・四季別出火件数

月別に見ると4月の出火件数が91件（全体比13.9%）で最も多い。（図3）

図3 月別出火件数

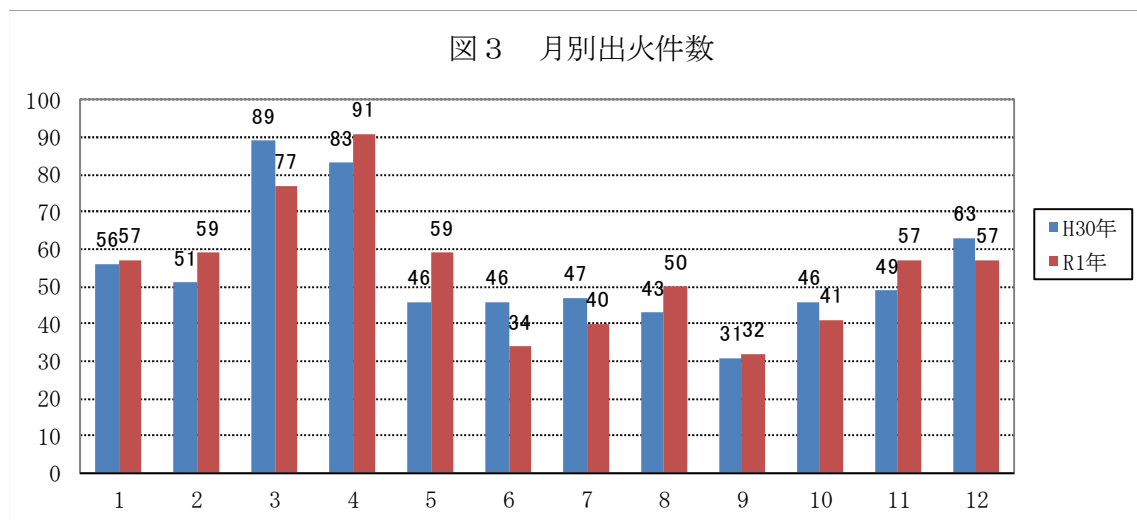


表2 四季別出火件数

	令和元年		平成30年	
	件数	全体比(%)	件数	全体比(%)
春季(3~5月)	227	34.7	218	33.5
夏季(6~8月)	124	19.0	136	20.9
秋季(9~11月)	130	19.9	126	19.4
冬季(1~2月及び12月)	173	26.4	170	26.2
合計	654	100.0	650	100.0

## (2) 消防機関の火災覚知方法

消防機関の火災覚知方法は、専用電話への通報によるものが437件（66.8%）で最も多い。なお、このうち携帯電話からの通報は件で半数を超えている。（表3）

表3 火災の覚知方法

（平成31年1月1日から令和元年12月31日まで）

	専用電話	加入電話	警察電話	駆付け通報	事後聞知	その他	合計
件数	437	58	18	1	134	6	654
全体比(%)	66.8	8.9	2.8	0.1	20.5	0.9	100.0

(3) 人口一人当たりの市町村別出火率

表4 市町村別出火率（平成31年1月1日から令和元年12月31日まで）

市町村名	出火率	市町村名	出火率	市町村名	出火率	市町村名	出火率
仙台市	2.34	栗原市	8.34	丸森町	6.77	加美町	2.17
石巻市	2.66	東松島市	2.51	亶理町	2.98	涌谷町	4.40
塩竈市	2.04	大崎市	2.39	山元町	4.91	美里町	1.23
気仙沼市	2.56	富谷市	1.52	松島町	2.16	女川町	0.00
白石市	5.04	蔵王町	5.07	七ヶ浜町	3.21	南三陸町	5.52
名取市	2.65	七ヶ宿町	7.27	利府町	2.49		
角田市	4.18	大河原町	1.69	大和町	3.50		
多賀城市	1.60	村田町	5.56	大郷町	6.26		
岩沼市	3.41	柴田町	2.13	大衡村	8.35		
登米市	4.71	川崎町	9.21	色麻町	7.38	県平均	2.85

(注) 出火率(%) = (出火件数 ÷ 平成25年12月現在住民基本台帳による人口) × 10,000

(4) 初期消火器具

初期消火に使った器具は、「水道・浴槽・汲み置き等の水をかけた」が多い。(表5)

表5 火災発生時の初期消火器具（平成31年1月1日から令和元年12月31日まで）

初期消火器具	件数	全体比(%)	初期消火器具	件数	全体比(%)
水バケツ	9	1.4	スプリンクラー設備	0	0
水消火器	2	0.3	屋外消火栓設備	4	0.6
乾燥砂	1	0.2	動力消防ポンプ設備	0	0
強化液消火器	2	0.3	水道、浴槽、汲み置き等の水をかけた	164	25.1
泡消火器	2	0.3	寝具、衣類等をかけた	16	2.4
二酸化炭素消火器	1	0.2	もみ消した	16	2.4
粉末消火器	137	20.9	その他	35	5.4
屋内消火栓設備	2	0.3	初期消火なし	263	40.2
二酸化炭素消火設備	0	0			
粉末消火設備	0	0	合計	654	100.00

(5) 消防機関が主として使用した水利

消防機関が主として使用した水利は、消火栓によるものが多い。

なお、使用なしは初期消火等によって消し止められたものである。(表6)

表6 消火に主として使用した水利（平成31年1月1日から令和元年12月31日まで）

区分	消火栓	私設消火栓	防火水槽	プール	河川・溝等	濠・池等	海・湖	井戸	下水道	積載水	その他	使用なし	合計
件数	154	0	37	1	20	13	2	0	0	140	6	281	654
全体比(%)	23.5	0	5.7	0.2	3.1	2.0	0.3	0	0	21.4	0.9	42.9	100.0

(6) 焼損面積

建物焼損床面積は、22,449平方メートルで前年(22,486平方メートル)に比べ37平方メートルの減少となった。建物焼損表面積は、1,510平方メートルで前年(1,325平方メートル)に比べ185平方メートルの増加となった。林野火災焼損面積は、1,088aで前年(345a)に比べ、743aの増加となった。(第1表)

第1表 火災報告総括表  
(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

	出火件数							焼損棟数					焼損面積			死者	負傷者
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物(平米)		林野(アール)		
													床面積	表面積			
1月	57	31	4	8	0	0	14	59	18	6	15	20	1,578	81	215	2	6
2月	59	35	2	7	0	0	15	58	21	2	19	16	3,436	434	2	3	13
3月	77	31	9	4	0	0	33	62	22	6	18	16	2,324	216	445	2	9
4月	91	41	11	12	0	0	27	71	28	4	11	28	2,491	104	282	3	11
5月	59	27	1	7	0	0	24	51	19	5	7	20	1,606	45	120	0	3
6月	34	17	1	5	0	0	11	27	10	0	8	9	1,556	102	9	1	6
7月	40	26	0	8	0	0	6	34	8	1	7	18	1,071	79	0	5	9
8月	50	35	0	5	0	0	10	50	13	4	12	21	2,438	34	1	6	8
9月	32	23	0	4	0	0	5	37	10	3	6	18	998	132	0	2	7
10月	41	28	0	6	0	0	7	32	4	2	10	16	730	108	0	1	5
11月	57	26	0	8	0	0	23	45	13	0	9	23	1,989	26	0	0	8
12月	57	36	3	5	0	0	13	58	15	0	18	25	2,232	149	14	3	12
合計	654	356	31	79	0	0	188	584	181	33	140	230	22,449	1,510	1,088	28	97
H30年	650	369	15	78	0	0	188	570	148	33	157	232	22,486	1,325	345	26	134
対前年比	4	△13	16	1	0	0	0	14	33	0	△17	△2	△37	185	743	2	△37
H29年	650	369	15	78	0	0	188	570	148	33	157	232	22,486	1,325	345	26	134
H28年	734	387	28	102	3	0	214	598	172	33	158	235	26,010	1,102	358	30	118
H27年	779	410	27	82	2	0	258	594	167	24	147	256	19,941	1,176	179	28	105
H26年	846	449	44	90	1	0	262	708	225	26	171	286	28,783	1,578	1,345	40	120
H25年	893	455	58	93	3	0	284	669	198	36	176	259	28,551	1,171	845	33	121
H24年	845	501	18	80	3	0	243	732	191	35	171	335	24,566	1,861	206	48	136
H23年	1,200	635	49	129	0	0	387	1,319	595	67	288	369	95,136	2,527	26,473	43	141
H22年	953	588	36	77	2	1	249	866	232	42	227	365	29,899	2,690	279	33	145

	り災世帯				り災人員	損害見積額(千円)										
	計	全損	半損	小損		計	建物			林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発	
							小計	建築物	収容物							
1月	32	10	4	18	73	112,967	105,763	77,539	28,224	1,644	3,748	0	0	1,812	0	
2月	32	9	1	22	63	339,744	337,206	263,609	73,597	31	2,182	0	0	325	0	
3月	25	9	1	15	64	105,226	98,742	79,998	18,744	869	1,866	0	0	3,749	0	
4月	41	12	1	28	75	146,775	125,677	97,562	28,115	7,489	7,391	0	0	6,218	0	
5月	17	4	0	13	47	55,003	49,911	26,461	23,450	2,209	1,627	0	0	1,256	0	
6月	14	3	0	11	20	34,071	31,164	23,494	7,670	229	2,417	0	0	261	0	
7月	16	5	1	10	33	47,487	45,409	37,929	7,480	0	1,718	0	0	360	0	
8月	24	6	1	17	56	138,902	137,072	123,448	13,624	397	785	0	0	648	0	
9月	19	9	0	10	46	74,977	71,993	65,947	6,046	0	2,914	0	0	70	0	
10月	16	4	0	12	35	53,294	47,582	43,319	4,263	0	1,907	0	0	3,805	0	
11月	16	3	0	13	48	72,303	65,986	59,154	6,832	0	5,499	0	0	818	0	
12月	35	11	0	24	78	124,522	123,449	86,100	37,349	6	999	0	0	68	0	
合計	287	85	9	193	638	1,305,271	1,239,954	984,560	255,394	12,874	33,053	0	0	19,390	0	
H30年	340	82	21	237	814	1,545,862	1,375,690	993,553	382,137	1,619	78,139	0	0	89,391	1,023	
対前年比	△53	3	△12	△44	△176	△240,591	△135,736	△8,993	△126,743	11,255	△45,086	0	0	△70,001	△1,023	
H29年	340	82	21	237	814	1,545,862	1,375,690	993,553	382,137	1,619	78,139	0	0	89,391	1,023	
H28年	358	99	14	245	872	2,377,742	2,129,509	1,095,561	1,033,948	1,723	49,562	80,045	0	116,903	0	
H27年	302	62	15	225	827	1,079,466	1,017,540	765,154	252,386	2,651	42,075	989	0	15,636	575	
H26年	388	91	15	282	1,037	1,590,790	1,486,629	1,071,437	415,192	6,646	71,080	0	0	24,632	1,803	
H25年	398	102	25	271	1,058	2,076,331	1,914,304	1,397,446	516,858	9,181	107,544	12,799	0	32,470	33	
H24年	441	111	27	303	1,062	1,351,089	1,266,986	872,457	394,529	9,551	35,393	5,261	0	30,249	3,649	
H23年	636	255	25	356	1,718	9,848,869	9,622,479	8,165,484	1,456,995	4,325	67,252	8,243	0	146,292	278	
H22年	493	114	35	344	1,362	1,737,480	1,646,964	1,022,308	624,656	3,611	22,744	6,015	0	55,860	2,286	

### (7) 損害額

損害額は、1,305,271千円で前年(1,545,862千円)より240,591千円減少した。

火災種別ごとの損害額をみると、建物火災が一番多く1,239,954千円で、全体の95%を占めている。(表7)

表7 火災種別損害額  
(平成31年1月1日から令和元年12月31日まで)

	合計	建物			林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
		小計	建築物	収容物						
損害額 (千円)	1,305,271	1,239,954	984,560	255,394	12,874	33,053	0	0	19,390	0
構成比	100.00%	95.00%	79.40%	20.60%	0.99%	2.53%	0.00%	0.00%	1.49%	0.00%
1件当り 平均 (千円)	1,462	2,725	—	—	222	355	0	0	68	—

### (8) 火災の原因

火災原因では、放火・放火の疑い80件が最も多く、次いでたばこ65件、電灯・電話等の配線、こんろ37件と続いている。(表8)

これらの火災の原因中、放火・放火の疑い、不明・調査中を除いた、いわゆる失火とされるものが516件で、全体の78.89%を占めており、今後ともあらゆる機会をとらえて火災予防意識の高揚を図る必要がある。

表 8 出火原因別一覧表  
(平成31年1月1日から令和元年12月31日まで)

順位	原因	件数	火災種別内訳					
			建物	林野	車両	船舶	航空機	その他
1	放火・放火の疑い	80	41	0	7	0	0	32
2	たばこ	65	33	4	5	0	0	23
3	電灯電話等の配線	37	25	0	1	0	0	11
3	こんろ	37	34	0	2	0	0	1
5	配線器具	27	21	0	3	0	0	3
6	火入れ	24	2	6	0	0	0	16
7	たき火	22	5	2	0	0	0	15
7	排気管	22	1	0	21	0	0	0
9	電気機器	21	12	0	7	0	0	2
10	ストーブ	20	20	0	0	0	0	0
11	電気装置	15	11	0	3	0	0	1
12	火遊び	14	4	1	0	0	0	9
13	マッチ・ライター	10	2	0	3	0	0	5
14	灯火	8	8	0	0	0	0	0
14	風呂かまど	8	8	0	0	0	0	0
14	焼却炉	8	4	0	1	0	0	3
14	溶接機・切断機	8	3	0	2	0	0	3
14	煙突・煙道	8	6	1	0	0	0	1
19	取灰	5	3	0	0	0	0	2
20	内燃機関	3	0	0	2	0	0	1
20	かまど	3	3	0	0	0	0	0
20	こたつ	3	3	0	0	0	0	0
23	衝突の火花	2	0	0	2	0	0	0
23	ボイラー	2	1	0	1	0	0	0
25	炉	1	1	0	0	0	0	0
	その他	143	69	10	14	0	0	50
	不明・調査中	58	36	7	5	0	0	10
	合計	654	356	31	79	0	0	188

(9) 死傷者

火災による死傷者は、死者 28 人、負傷者 97 人となっており、前年に比べ、死者が 2 人増加し、負傷者が 37 人減少している。(第 1 表)

死者の原因をみると、火傷 5 人、自殺 11 人、一酸化炭素中毒・窒息死 7 人、その他・不明 5 人となっており、火傷及び一酸化炭素中毒・窒息死が全体の 42.85%を占めている。(第 2 表)

また、死者の年齢構成別では、81 才以上の年齢層が最も多い。(表 10)

表 9 火災種別死傷者数  
(平成 31 年 1 月 1 日から令和元年 12 月 31 日まで)

	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計
死者	20	0	2	—	—	6	28
負傷者	75	4	6	—	—	12	97

表 10 死者の年齢別調  
(平成 31 年 1 月 1 日から令和元年 12 月 31 日まで)

性別	0~ 10才	11~ 20才	21~ 30才	31~ 40才	41~ 50才	51~ 60才	61~ 70才	71~ 80才	81才~	不明	合計
男	—	—	1	1	—	3	3	4	2	1	15
女	—	—	—	—	—	3	2	2	6	—	13
不明	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	1	1	—	6	5	6	8	1	28

第1表 火災報告総括表  
(平成31年1月1日～令和元年12月31日)

	出火件数										焼損棟数					焼損面積				死者	負傷者
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物(平米)		林野(アール)						
													床面積	表面積							
1月	57	31	4	8	0	0	14	59	18	6	15	20	1,578	81	215	2	6				
2月	59	35	2	7	0	0	15	58	21	2	19	16	3,436	434	2	3	13				
3月	77	31	9	4	0	0	33	62	22	6	18	16	2,324	216	445	2	9				
4月	91	41	11	12	0	0	27	71	28	4	11	28	2,491	104	282	3	11				
5月	59	27	1	7	0	0	24	51	19	5	7	20	1,606	45	120	0	3				
6月	34	17	1	5	0	0	11	27	10	0	8	9	1,556	102	9	1	6				
7月	40	26	0	8	0	0	6	34	8	1	7	18	1,071	79	0	5	9				
8月	50	35	0	5	0	0	10	50	13	4	12	21	2,438	34	1	6	8				
9月	32	23	0	4	0	0	5	37	10	3	6	18	998	132	0	2	7				
10月	41	28	0	6	0	0	7	32	4	2	10	16	730	108	0	1	5				
11月	57	26	0	8	0	0	23	45	13	0	9	23	1,989	26	0	0	8				
12月	57	36	3	5	0	0	13	58	15	0	18	25	2,232	149	14	3	12				
合計	654	356	31	79	0	0	188	584	181	33	140	230	22,449	1,510	1,088	28	97				
H30年	650	369	15	78	0	0	188	570	148	33	157	232	22,486	1,325	345	26	134				
対前年比	4	△ 13	16	1	0	0	0	14	33	0	△ 17	△ 2	△ 37	185	743	2	△ 37				
H29年	650	369	15	78	0	0	188	570	148	33	157	232	22,486	1,325	345	26	134				
H28年	734	387	28	102	3	0	214	598	172	33	158	235	26,010	1,102	358	30	118				
H27年	779	410	27	82	2	0	258	594	167	24	147	256	19,941	1,176	179	28	105				
H26年	846	449	44	90	1	0	262	708	225	26	171	286	28,783	1,578	1,345	40	120				
H25年	893	455	58	93	3	0	284	669	198	36	176	259	28,551	1,171	845	33	121				
H24年	845	501	18	80	3	0	243	732	191	35	171	335	24,566	1,861	206	48	136				
H23年	1,200	635	49	129	0	0	387	1,319	595	67	288	369	95,136	2,527	26,473	43	141				
H22年	953	588	36	77	2	1	249	866	232	42	227	365	29,899	2,690	279	33	145				



	災害世帯										被災人員										損害見積額(千円)															
	計			全損			半損			小損			計			建物			林野			車両			船舶			航空機			その他			爆発		
	計	全損	半損	小損	計	全損	半損	小損	計	建築物	収容物	小計	計	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発																	
																				計	建築物	収容物	小計	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発							
1月	32	10	4	18	73			112,967	77,539	28,224	105,763	1,644	3,748	0	0	0	1,812	0																		
2月	32	9	1	22	63			339,744	263,609	73,597	337,206	31	2,182	0	0	0	325	0																		
3月	25	9	1	15	64			105,226	79,998	18,744	98,742	869	1,866	0	0	0	3,749	0																		
4月	41	12	1	28	75			146,775	97,562	28,115	125,677	7,489	7,391	0	0	0	6,218	0																		
5月	17	4	0	13	47			55,003	26,461	23,450	49,911	2,209	1,627	0	0	0	1,256	0																		
6月	14	3	0	11	20			34,071	23,494	7,670	31,164	229	2,417	0	0	0	261	0																		
7月	16	5	1	10	33			47,487	37,929	7,480	45,409	0	1,718	0	0	0	360	0																		
8月	24	6	1	17	56			138,902	123,448	13,624	137,072	397	785	0	0	0	648	0																		
9月	19	9	0	10	46			74,977	65,947	6,046	71,993	0	2,914	0	0	0	70	0																		
10月	16	4	0	12	35			53,294	43,319	4,263	47,582	0	1,907	0	0	0	3,805	0																		
11月	16	3	0	13	48			72,303	59,154	6,832	65,986	0	5,499	0	0	0	818	0																		
12月	35	11	0	24	78			124,522	86,100	37,349	123,449	6	999	0	0	0	68	0																		
合計	287	85	9	193	638			1,305,271	984,560	255,394	1,239,954	12,874	33,053	0	0	0	19,390	0																		
H30年	340	82	21	237	814			1,545,862	993,553	382,137	1,375,690	1,619	78,139	0	0	0	89,391	1,023																		
対前年比	△ 53	3	△ 12	△ 44	△ 176			△ 240,591	△ 8,993	△ 126,743	△ 135,736	11,255	△ 45,086	0	0	0	△ 70,001	△ 1,023																		
H29年	340	82	21	237	814			1,545,862	993,553	382,137	1,375,690	1,619	78,139	0	0	0	89,391	1,023																		
H28年	358	99	14	245	872			2,377,742	1,095,561	1,033,948	2,129,509	1,723	49,562	80,045	0	0	116,903	0																		
H27年	302	62	15	225	827			1,079,466	765,154	252,386	1,017,540	2,651	42,075	989	0	0	15,636	575																		
H26年	388	91	15	282	1,037			1,590,790	1,071,437	415,192	1,486,629	6,646	71,080	0	0	0	24,632	1,803																		
H25年	398	102	25	271	1,058			2,076,331	1,397,446	516,858	1,914,304	9,181	107,544	12,799	0	0	32,470	33																		
H24年	441	111	27	303	1,062			1,351,089	872,457	394,529	1,266,986	9,551	35,393	5,261	0	0	30,249	3,649																		
H23年	636	255	25	356	1,718			9,848,869	8,165,484	1,456,995	9,622,479	4,325	67,252	8,243	0	0	146,292	278																		
H22年	493	114	35	344	1,362			1,737,480	1,022,308	624,656	1,646,964	3,611	22,744	6,015	0	0	55,860	2,286																		

第2表 昭和60年以降の年別火災状況

区分 年	出火件数							焼損面積			死者	負傷者	り災 世帯数	り災 人員	損害見額	出火原因				死因				出火率			
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	建物	床面積	表面積						林野 (アール)	計	1	2	3	その他	計	1		2	3	その他
昭和60	1,043	665	82	75	5	216	936	48,261	-	4,904	27	108	582	2,032	3,310,283	1,043	1,119	107	10	27	10	4	1	10	4	4.8	
61	1,116	714	84	83	8	227	996	45,244	-	1,425	29	140	578	2,090	3,843,753	1,116	1,115	115	9	29	9	5	1	9	5	5.1	
62	1,129	660	104	83	6	276	891	38,521	-	3,185	30	117	553	1,943	2,885,782	1,129	1,146	103	12	30	12	5	1	12	5	5.1	
63	1,092	655	75	85	1	276	883	39,514	-	1,780	28	132	501	1,826	2,272,757	1,092	1,122	115	10	28	10	5	1	10	5	4.9	
平成1	995	629	67	69	5	225	923	39,005	-	1,110	26	111	524	1,897	2,212,771	995	1,019	119	12	26	12	1	1	12	1	4.5	
2	1,120	686	86	102	4	242	943	35,217	-	1,376	39	142	527	1,738	2,385,295	1,120	1,115	115	9	39	9	4	1	9	4	5.0	
3	1,118	679	78	93	0	268	937	36,534	-	3,026	27	124	527	1,824	2,420,077	1,118	1,126	126	9	27	9	3	1	9	3	4.9	
4	1,095	718	38	96	3	240	1,004	40,463	-	457	43	114	560	1,944	3,021,975	1,095	1,088	108	7	43	7	8	0	7	8	4.8	
5	1,190	683	89	82	3	333	942	38,845	-	12,954	39	124	541	1,771	2,785,734	1,190	1,157	157	17	39	17	8	2	17	8	5.2	
6	1,315	678	137	107	3	390	1,015	45,056	-	3,362	40	126	566	1,830	4,077,242	1,315	1,151	151	14	40	14	10	4	14	10	5.7	
7	1,098	642	55	114	2	285	928	40,061	3,662	536	38	120	533	1,661	3,270,390	1,098	1,127	127	11	38	11	8	0	11	8	4.7	
8	1,271	694	83	114	6	374	926	32,942	1,981	8,178	42	117	539	1,676	3,032,337	1,271	1,141	141	20	42	20	13	2	20	13	5.4	
9	1,252	646	100	123	6	377	920	43,739	2,054	6,397	66	126	536	1,717	3,230,816	1,252	1,151	151	20	66	20	13	3	20	13	5.3	
10	1,177	707	54	130	5	281	968	53,137	4,284	1,031	50	178	549	1,700	5,337,569	1,177	1,124	124	17	50	17	15	5	15	15	5.0	
11	1,092	632	65	122	3	270	869	38,372	2,341	1,748	38	124	520	1,694	6,390,832	1,092	1,123	123	15	38	15	7	4	15	7	4.6	
12	1,128	601	54	135	3	334	889	36,994	2,765	1,075	44	143	528	1,632	3,579,644	1,128	1,128	128	17	44	17	12	1	17	12	4.8	
13	1,258	660	63	139	1	395	917	41,934	2,565	919	38	171	527	1,634	3,186,020	1,258	1,145	145	18	38	18	13	1	18	13	5.3	
14	1,186	600	83	126	3	374	882	38,518	2,651	17,581	51	146	511	1,589	3,072,250	1,186	1,146	146	18	51	18	14	7	18	14	5.0	
15	1,147	622	64	122	2	337	867	30,794	2,342	906	37	157	552	1,558	2,111,302	1,147	1,116	116	13	37	13	8	5	13	8	5.8	
16	1,259	679	93	126	4	357	1,033	46,059	2,869	5,263	50	135	570	1,668	3,271,043	1,259	1,133	133	19	50	19	13	6	19	13	5.3	
17	1,121	649	65	118	4	284	958	42,160	2,147	5,727	40	157	559	1,639	3,169,249	1,121	1,118	118	13	40	13	9	3	13	9	4.8	
18	942	543	44	115	3	237	765	30,331	1,983	331	55	133	494	1,386	2,386,451	942	1,058	105	21	55	21	17	3	21	17	4.0	
19	965	585	56	93	5	226	855	36,833	4,041	18,057	42	130	495	1,431	2,393,116	965	1,008	108	19	42	19	12	4	19	12	4.8	
20	1,051	606	49	93	4	299	848	35,479	1,742	738	47	182	494	1,411	2,216,381	1,051	1,019	119	19	47	19	13	3	19	13	4.5	
21	1,002	557	51	109	1	284	771	23,676	2,216	11,873	27	110	430	1,196	1,308,553	1,002	1,008	108	12	27	12	7	2	12	7	4.3	
22	953	588	36	77	2	249	866	29,899	2,690	279	33	145	493	1,362	1,737,480	953	1,089	89	13	33	13	5	4	13	5	4.1	
23	1,200	635	49	129	0	387	1,319	95,136	2,527	26,473	43	141	636	1,718	9,848,869	1,200	1,167	167	16	43	16	12	7	16	12	5.1	
24	845	501	18	80	3	243	732	24,566	1,861	206	48	136	441	1,062	1,351,089	845	1,142	142	14	48	14	14	8	14	14	3.7	
25	893	455	58	93	3	284	669	28,551	1,171	845	34	121	398	1,058	2,076,331	893	1,087	87	14	34	14	6	8	14	6	3.9	
26	846	449	44	90	1	262	708	28,783	1,578	1,345	40	120	388	1,037	1,990,790	846	1,084	84	13	40	13	10	5	13	10	3.7	
27	779	410	27	82	2	258	594	19,941	1,176	179	28	105	302	827	1,079,466	779	1,126	126	13	28	13	8	4	13	8	4.3	
28	734	387	28	102	3	214	598	26,010	1,102	358	30	118	358	872	2,371,742	734	1,118	118	14	30	14	8	2	14	8	3.2	
29	724	362	28	95	0	239	614	24,266	1,779	924	30	116	346	861	1,966,232	724	1,099	99	13	30	13	3	6	13	3	3.1	
30	650	369	15	78	0	188	570	22,486	1,325	345	26	134	340	814	1,545,862	650	1,154	154	11	26	11	10	2	11	10	2.8	
31	654	356	31	79	0	188	584	22,449	1,510	1,088	28	97	287	638	1,305,271	654	1,180	80	11	28	11	7	5	11	7	2.9	

# 凡 例

この年報の火災概況は、総務省消防庁が定めた「火災報告取扱要領」により、市町村長から報告された平成30年1月から12月までの火災をとりまとめたものである。

ここに掲げる主なる用語の意義は次のとおりである。

## 1 火災

ここにいう「火災」とは、人の意図に反して発生し若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。

## 2 火災件数

「1件の火災」とは、一つの出火点から拡大したもので、出火に始まり鎮火するまでをいう。

## 3 火災の種別

### (1) 建物火災

建物又はその収用物が焼損した火災をいう。

ここにいう「建物」とは、土地に定着する工作物のうち屋根及び柱若しくは壁を有するもの、観覧のための工作物又は地下若しくは高架の工作物に設けた事務所、店舗、興業場、倉庫その他これらに類する施設をいい、貯蔵槽その他これに類する施設を除くものをいう。

### (2) 林野火災

森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。

### (3) 車両火災

自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。

### (4) 船舶火災

船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。

### (5) 航空機火災

航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。

## (6) その他の火災

(1) ～ (5) に含まれない火災をいう。

(空地，田畑，道路，河川敷，ごみ集積場，屋外物品集積場，軌道敷，電柱類等の火災)

## 4 爆発

1. 「爆発」とは，人の意図に反して発生又は拡大した爆発現象をいう。
2. 「爆発現象」とは，科学的变化による爆発の一つの形態であり，急速に進行する科学反応によって多量のガスと熱とを発生し，爆鳴・火炎及び破壊作用を伴う現象をいう。

## 5 火災損害

ここにいう「火災損害」とは，火災によって受けた直接的な損害（人の死傷及び物の損害）をいう。火災損害には消火活動に伴う破壊水損等によって生じた損害を含み，消火のために要した経費，焼跡整理費，り災のための休業による損失等の間接的な損害は含まない。

## 6 損害額

損害額算定の基準は，り災地における時価（り災当時の価格）による。

## 7 焼損棟数

焼損した建物の棟数をいい，焼損程度により全焼，半焼，部分焼き，ぼやの四つに区分する。

### (1) 全焼

建物の焼き損害額が，火災前の建物の評価額の 70% 以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加え再使用できないものをいう。

### (2) 半焼

建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 20% 以上のもので全焼に該当しないものをいう。

### (3) 部分焼

建物の焼き損害額が，火災前の建物の評価額の 20% 未満のものでぼやに該当しないものをいう。

### (4) ぼや

建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 10% 未満であり焼損床面積が 1 平方メートル未満のもの。建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 10% 未満であり焼損表面積が 1 平方メートル未満のもの，又は収容物のみ焼損したものをいう。

## 8 焼損面積

### (1) 建物焼損床面積

建物の焼損が立体的に及んだ場合、焼損したことによって機能が失われた部分の床面積をいう。

### (2) 建物焼損表面積

建物の焼損が部分的である場合（立体的に焼損が及ばなかった場合）、例えば内壁、天井、床板等部分的なものの表面積をいう。

## 9 り災世帯

り災の程度によって、全損、半損、小損の三つに区分する。

### (1) 全損

建物（収容物を含む。以下半損、小損において同じ。）の火災損害額が、り災前の建物の評価額の70%以上のものをいう。

### (2) 半損

建物の火災損害額が、り災前の建物の評価額の20%以上で、全損に該当しないものをいう。

### (3) 小損

建物の火災損害額が、り災前の建物の評価額の20%未満のものをいう。

## 10 り災人員

一般世帯がり災した場合には、当該世帯の全ての人員をり災人員とする。ただし、共同住宅の共用部分のみをり災した場合には、り災人員を計上しない。

施設等の世帯がり災した場合には、被害を受けた「へや」に居住する人員又は実際に火災被害を受けた人員のみをり災人員とする。

## 11 出火率

人口1万人当たりの数値である。

## 2 自然災害等

### 平成31年・令和元年の災害等の発生状況 (前回防災会議(平成31年2月)報告分以降)

令和元年10月に発生した令和元年東日本台風の影響により、県内で公共土木施設、農林水産関係を中心に被害が発生した。災害の発生状況は次のとおりである。

【被害件数】	
地	震： 2件
風 水	害： 5件
合	計： 7件

# 宮城県

## 平成31年・令和元年の災害等の発生状況

年月日・種別	概 要
H31. 1. 29 暴風	県内で暴風による被害が発生した。 《被害状況》 人的被害 ・ 軽傷者 1名
H31. 4. 6 暴風	県内で暴風等による被害が発生した。 《被害状況》 (1) 人的被害 ・ 重傷者 2名 ・ 軽傷者 4名 (2) 住家被害 ・ 一部破損 3棟 (4) 被害総額 10,999千円 内訳) 農林水産業施設 185千円 農産被害 10,264千円 畜産被害 550千円
H31. 4. 15 暴風	県内で暴風による被害が発生した。 《被害状況》 (1) 人的被害 ・ 軽傷者 2人
R1. 6. 18 地震	県内で地震による被害が発生した。 《被害状況》 (1) 人的被害 ・ 軽傷者 5人 被害総額 500千円 内訳) 商工被害 500千円
R1. 8. 4 地震	県内で地震による被害が発生した。 《被害状況》 被害総額 106千円 内訳) 商工被害 106千円

<p>R1. 8. 27 大雨</p>	<p>県内で大雨による被害が発生した。 《被害状況》 (1) 住家被害 ・ 床下浸水 3棟</p>
<p>R1. 10. 12 令和元年東日本台風</p>	<p>令和元年東日本台風により、県内で大雨による被害が発生した。 《被害状況》 (1) 人的被害 (4) 被害総額 164,160,999千円 ・ 死者 20人 (うち災害関連死 1名) 内訳 ・ 行方不明者 2人 公立文教施設 1,484,636千円 ・ 重傷者 8人 農林水産業施設 63,721,181千円 ・ 軽傷者 35人 公共土木施設 65,468,000千円 (2) 住家被害 その他の公共施設 4,707千円 ・ 全壊 327棟 農産被害 4,155,846千円 ・ 半壊 3,224棟 林産被害 9,978,569千円 ・ 一部破損 2,522棟 畜産被害 657,376千円 ・ 床上浸水 1,886棟 水産被害 394,372千円 ・ 床下浸水 11,818棟 商工被害 14,121,860千円 (3) 非住家被害 その他被害 4,174,452千円 ・ 公共建物 17棟 ・ その他 77棟</p>

※被害状況は消防庁報告による。

※なお、被害が発生しなかった自然現象については、計上していない。

※「R1. 10. 12 令和元年東日本台風」への被害は、令和2年9月30日(水)現在の被害を計上しているため、P17の「宮城県平成31年 令和元年災害年報」に記載の被害とは、時点が異なるため、数値が異なる場合がある。



